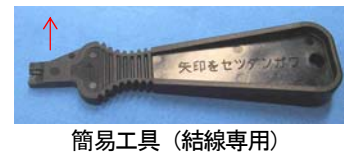
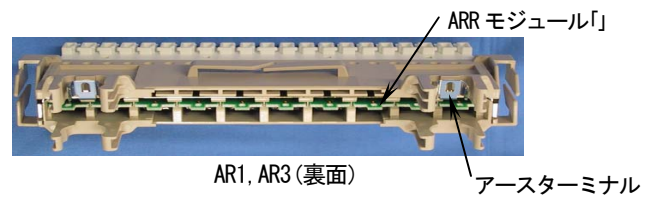
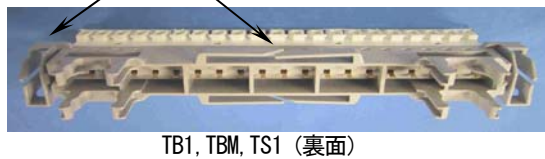
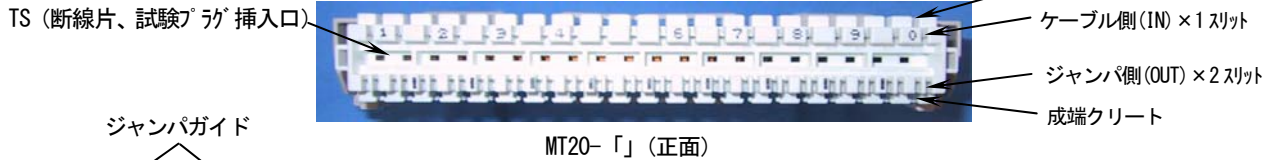
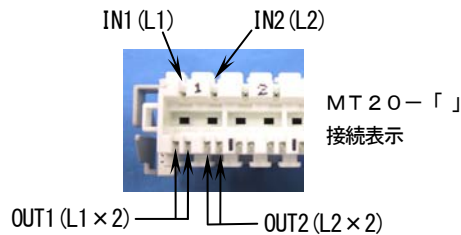


MT20端子板シリーズ 取扱説明書

1. 構成 (MT20-「」)

- ・MT20-TB1: 接続端子板
- ・MT20-TBM: モニタ端子板
- ・MT20-TS1: 切分け端子板
- ・MT20-AR1: アレスタ端子板
- ・MT20-AR3: アレスタ端子板



「矢印をセツダンガワ」(TS 側) に向けて、線を押し込んで下さい。(余分な線はニッパ等を使用してカット)

2. 手順

2-1 ケーブル側とジャンパ側の結線

MT20-「」をマウントまたは、プロファイルに取り付け後、ケーブル心線を成端クリートに通しUスリット溝に仮止めします。

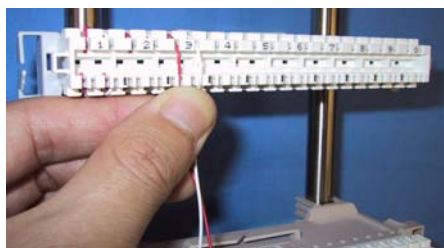
結線工具 (UCT-A コウガ) のカッターをTS側に向け、Uスリット溝に水平垂直に結線工具から押し切り音が聞こえるまで押し込んで下さい。接続と同時に心線はカットされますので、カットされた心線は取り除いて下さい。

尚、ジャンパ側も同様に行って下さい。

注1) 適用線材径: $\phi 0.4\text{mm} \sim \phi 0.65\text{mm}$ (結線工具適用線材: $\phi 0.4\text{mm} \sim \phi 0.5\text{mm}$)
 なお結線工具で、 $\phi 0.65$ をカットするとカッターの摩耗が早まりますので、カットはニッパなどで行われることを推奨いたします。

注2) ジャンパ側のUスリット端子は、1端子に2スリット設けてあり、マルチ接続が可能です。
 ただし、ジャンパ線は1スリットに1本の接続に限ります。

注3) 結線前にケーブル心線または、ジャンパ線に十分な余長をお取り下さい。(注5 参照)
 ARRモジュール「」交換時、または作業スペースの確保、特に複数列の設置時に必要となります。



Uスリット溝に仮止め



結線と同時にカット

← 水平垂直に押し込む

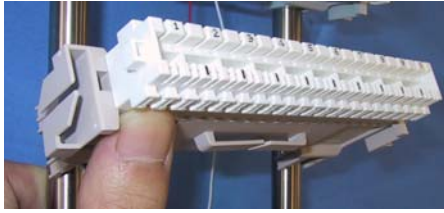
2-2 心線の取り外し

結線工具の後面に装着してあるフックを使用し、心線を手前に引き抜きます。



2-3 MT20-「」の取り外し

- ・プロファイルの場合は、MT20-「」の下から、指で押し上げながら片側ずつ外して下さい。



- ・マウントの場合は、はじめにハズシ工具を左右のジャンパガイド下部に、ジャンパ線を挟み込まないように差し込みます。このとき、引っ掛け爪がある面を外向きにします。ハズシ工具の先端を内側に倒し、ジャンパガイドを外側に開きながら、垂直に引き抜いて下さい。



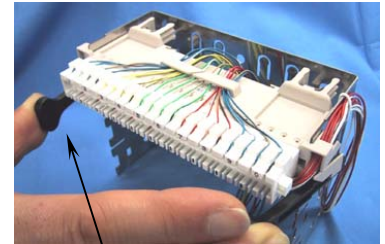
引っ掛け爪



マウントの場合

ジャンパガイド

引っ掛け爪面



内側に倒す

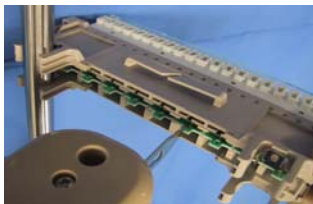
2-4 ARRモジュール「」の交換 (MT20-AR1, AR3)

- ・プロファイルの場合は、MT20-「」の片側を外し回転させます。
- ・マウントの場合は、MT20-「」を取り外し裏面側を向けます。

その後、結線工具のフックをARRモジュール「」の穴にかけ、引き抜きます。取り付ける場合は、ガイドに沿ってARRモジュール「」を挿入し、突き当たるまで押し込みます。

注4) ARRモジュール「」を取り付ける際、アレスタ側を下向きにして挿入して下さい。

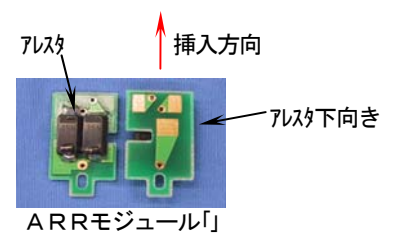
注5) ケーブル余長が不十分または不適切ですと、モジュールを回転または、裏返せない場合があります。



プロファイルの場合



マウントの場合



ARRモジュール「」

アレスタ下向き

2-5 アースの取り付け (MT20-AR1, AR3)

[取付例]



プロファイルの場合



マウントの場合

アース線は、A種接地工事の地気端子に接続して下さい

3. オプション

断線片

(MT20-TS1, AR1, AR3 に適用)



試験プラグ

(MT20-TS1, AR1, AR3 に適用)



IN1 : 赤色 OUT1 : 青色
IN2 : 白色 OUT2 : 黄色

モニタプラグ

(MT20-TBM, TS1, AR1, AR3 に適用)



IN1, OUT1 : 白色
IN2, OUT2 : 赤色

お問い合わせ先

東京通信機工業株式会社

本社営業部 TEL:03-3447-2421 FAX:03-3447-0426

大阪営業所 TEL:06-4805-6580 FAX:06-4805-6585